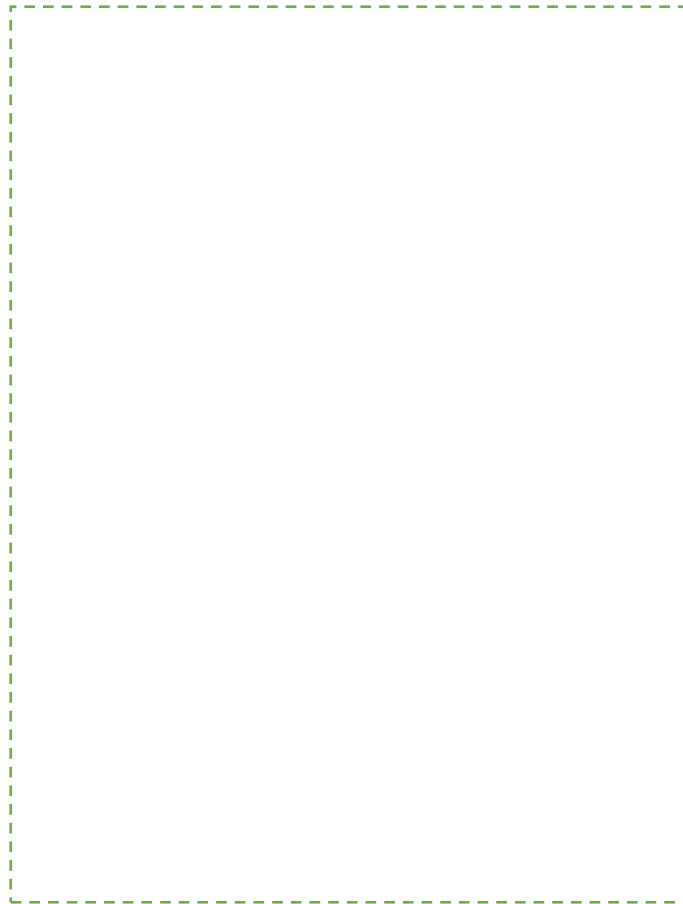


平成 29 年（2017）年度～平成 33（2021）年度

# 石狩市観光振興計画（案）

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇



（イメージ写真）

平成 29 年 3 月

石 狩 市

# 目次

---

## I 背景

- 1 国の動向…………… 1
- 2 北海道の動向…………… 1

## II 石狩市の観光を取り巻く現状と課題

- 1 現状…………… 2
- 2 課題…………… 5

## III 目指す「石狩市の観光」の姿

- 1 計画の期間…………… 8
- 2 計画の性格…………… 8
- 3 計画の○○○○○……………10
- 4 計画の具体的な展開……………10
- 5 計画の推進体制……………14

## IV 計画策定にあたって

- 1 石狩市観光振興計画検討会の開催……………16

# I 背景

## 1 国の動向

国においては、少子高齢社会の到来や本格的な国際交流の進展を視野に、観光がその使命を果たすことができる観光立国の実現を国家戦略として位置付け、「観光基本法」を全面改正した「観光立国推進基本法」が平成 18 年 12 月に成立し、平成 19 年 1 月より施行されています。また、平成 20 年 10 月には国土交通省に観光庁が設立されるなど、観光立国の実現に向けた取組を推進しています。

近年では、新たな成長戦略として、「日本再興戦略 2016」を閣議決定し、2015 年に 1,974 万人の訪日外国人旅行者数を「2020 年に 4000 万人、2030 年に 6000 万人」と従来目標の「2020 年に 2000 万人、2030 年に 3000 万人」から大幅な上積みを行い、受け入れ環境の整備も急ぐこととしています。また、「観光は地方創生の切り札とし、観光が持つ広範な経済波及効果を念頭に、インバウンドと国内観光の両輪による観光振興を図るとともに、特定の地域に集中している国内外の旅行者を全国各地に分散・拡大させていく」ともしております。

## 2 北海道の動向

北海道では、「北海道観光のくにづくり条例」に基づき、本道の観光振興に関する施策を総合的、計画的に推進するため、「北海道観光のくにづくり行動計画」を策定し、観光事業者や観光関係団体はもとより、観光にかかわるすべての関係者と連携・協働し、各般の施策を推進することとしています。

本道の観光入込客数（実人数）は、平成 23 年の東日本大震災の影響により、一時的に落ち込みましたが、24 年度には回復基調に転じ、高速道路の延伸や航空路線の新規就航といった交通アクセスの向上などにより、平成 27 年度には、5,477 万人と過去最高を更新し、中でも訪日外国人来道者数は、初めて 200 万人を超え、過去最高の 208 万人となり、我が国の訪日外国人旅行者の約 1 割を占めています。

こうしたことから、道では、国の動向も踏まえ、2020年を目途として、300万人を超えるさらなる高みを目指し、外国人観光客の拡大により、地域経済の活性化や雇用の維持・拡大につなげていくため、観光をビジネスチャンスとしてとらえ、「観光で稼ぐ」という道民意識の醸成を図るとともに、広域観光に資する空港運営の民間委託や地域のDMO※の形成といった受入体制の整備、マーケット分析に基づく戦略的な誘致活動など、「世界が憧れる観光立国北海道」の実現に向け、官民一体となって取組を進めています。

※（日本版）DMO 地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人（国土交通省観光庁 HP）

## Ⅱ 石狩市の観光を取り巻く現状と課題

### 1 現状

本市は、古くサケやニシンに代表する漁業とともに発展した固有の歴史・文化を持ちながらも近年では、石狩湾新港に代表する札幌圏の生産・物流拠点としての近代的な機能も有するまちです。また、道内最大の人口を有し、道内外からの多くの観光客が訪れる札幌市の北側に隣接しているなか、「海・山・川」全てが揃った自然豊かな環境は、「北海道の魅力」を日帰りドライブの距離で楽しむことができる魅力を有しています。

本市は、平成17年の厚田村・浜益村との合併を機に、市域は南北に約67kmにも広がり、暑寒別天売焼尻国定公園をはじめとした雄大な自然やホタテやハタハタ、浜益牛や望来豚などの豊富な食、果物狩りやシーカヤックなどの体験型観光も新たな魅力として加わることとなりました。

多彩なイベントも開催されており、石狩さけまつりをはじめとした本市の歴史・文化を象徴する「石狩市三大秋祭り」や地産地消をテーマとした「石狩まるごとフェスタ」、自然体験と健康を掛け合わせた「浜益「いっぺ、かだれや」ヘルシーウォーク」、さらには全国的に有名な音楽フェスティバル「RISING SUN ROCK FESTIVAL IN EZO」も石狩を発信する魅力の一つです。このほか、海水浴場も充実しており、石狩浜海水浴場「あそびーち石狩」は、北海道内の海水浴場において、最大の来場者数を誇る程となっております。

平成30年度には、厚田区に道の駅（仮称）「あったか・あいろーど」が開業する予定であり、地域振興の核として、また、石狩北部地域も含めた市内周遊の拠点施設としての役割が期待されているところです。

#### (1) 観光入込客数

本市の観光入込客については、平成22年度までは、年間170万人程度の観光入込客で推移していましたが、平成23年に「地元市場『とれのさと』」の開業、平成27年には「番屋の湯」が再開するなどの要因により大幅に増加し、平成27年度では、初めて200万人（207万人）を超える結果となりました。また、第1次観光振興計画策定時の平成19年度の150万8千人から平成27年度の207万人を比較すると37.3%増となっております。（図表1）なお、道内・道外観光客の内訳については、道内客がそのほとんどを占めており、また、日帰り観光が多いのが現状です。

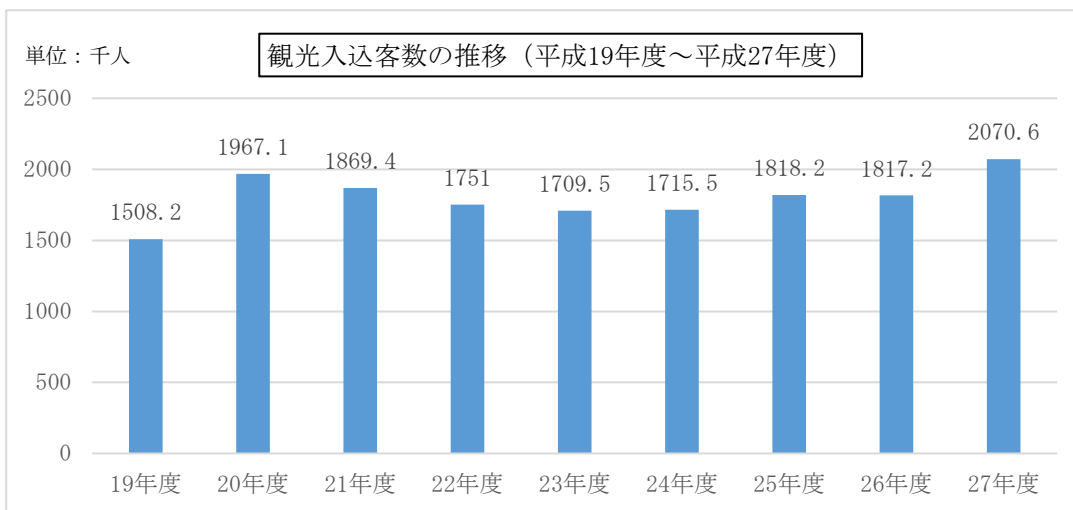
月別の動向としては、季節格差が顕著で、平成27年度調査では、最も少なかった1月の41,000人と、最も多かった8月の598,000人を比較すると、およそ14.6倍の格差があります。（図表2）

地域別の内訳としては、平成27年度調査では、207万人のうち、旧石狩地区が約125万人（60.4%）、厚田区が約69万人（33.2%）、浜益区が約13万人（6.4%）となっております。（図表3）

観光施設等別の内訳としては、スポーツ・レクリエーション施設が77.7万人と全体の37.5%を占めています。1位は、道内屈指の桜の名所である「戸田記念墓地公

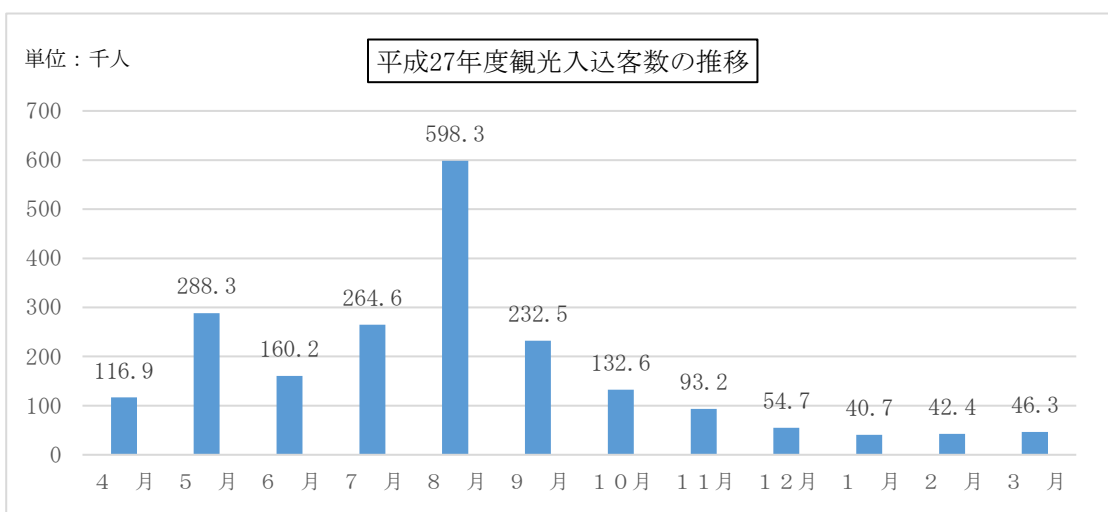
園」であり、このほか、石狩浜海水浴場「あそびーち石狩」や農産品の直売所である「地物市場『とれのさと』」も多くの来場数となっています。（図表4）

【図表1】



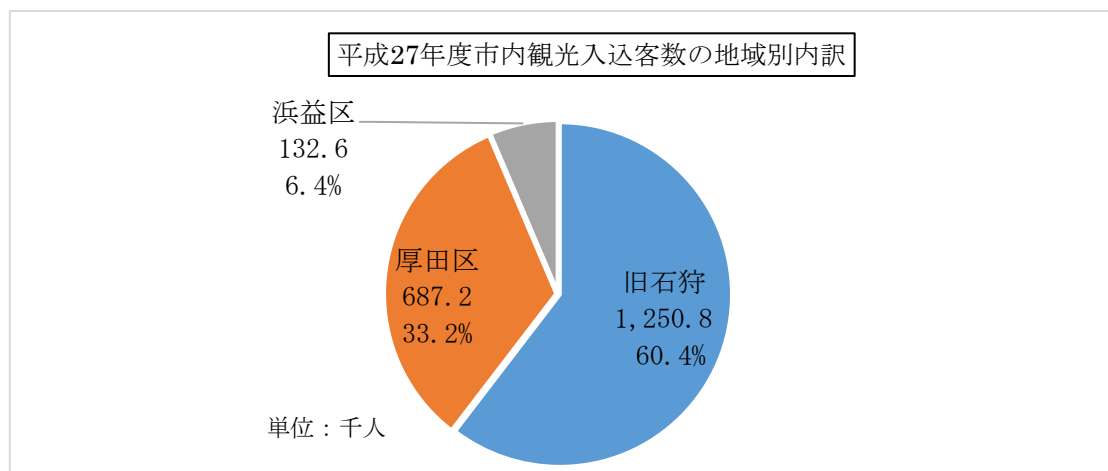
<出典：平成27年度観光入込客数調査・石狩市>

【図表2】



<出典：平成27年度観光入込客数調査・石狩市>

【図表3】



<出典：平成27年度観光入込客数調査・石狩市>

【図表 4】

## 平成 27 年度市内観光入込客数の観光施設等別内訳

分類	観光対象地	エリア	入込客数(人)	構成割合
自然			467,490	22.6%
	樽川公園	旧石狩	5,851	
	<b>戸田記念墓地公園</b>	<b>厚田区</b>	<b>419,292</b>	<b>1位</b>
	厚田公園	厚田区	34,236	
	千本なら	浜益区	4,924	
	黄金山	浜益区	1,710	
歴史・文化	毘砂別展望台	浜益区	1,477	
			3,188	0.2%
	いしかり砂丘の風資料館	旧石狩	2,436	
	はまます郷土資料館	浜益区	752	
温泉			217,207	10.5%
	<b>石狩天然温泉 番屋の湯</b>	<b>旧石狩</b>	<b>159,620</b>	<b>5位</b>
	浜益保養センター	浜益区	57,587	
スポーツ・レクリエーション施設			776,776	37.5%
	<b>石狩浜海水浴場「あそびーち石狩」</b>	<b>旧石狩</b>	<b>201,670</b>	<b>3位</b>
	<b>サテライト石狩</b>	<b>旧石狩</b>	<b>238,860</b>	<b>2位</b>
	旧石狩内ゴルフ場(4箇所)	旧石狩	112,675	
	ウエイクボードフェスティバル	旧石狩	2,000	
	シーサイドみなくるパークゴルフ場	厚田区	11,522	
	厚田区内ゴルフ場(4箇所)	厚田区	121,244	
	厚田区内海水浴場 ※海浜プール除く	厚田区	23,358	
	濃昼海浜キャンプ場	厚田区	1,985	
	フロンテア乗馬クラブ	厚田区	6,197	
	厚田海浜プール	厚田区	13,165	
	川下海水浴場「はまますピリカ・ビーチ」	浜益区	22,782	
	川下海浜公園キャンプ場	浜益区	17,952	
	「いっぺ、かだれや」林道ウォーク	浜益区	133	
	サケ釣獲調査	浜益区	3,233	
食・グルメ			369,490	17.8%
	<b>地物市場とれのさと</b>	<b>旧石狩</b>	<b>169,482</b>	<b>4位</b>
	ホクレンパールライス工場	旧石狩	8,652	
	サーモンファクトリー	旧石狩	131,471	
	いしかり湾漁協「朝市」	旧石狩	17,600	
	あつた港朝市	厚田区	26,300	
	浜益ふるさと市場(朝市)	浜益区	14,100	
	カフェ・ガル	浜益区	1,885	
イベント			175,600	8.5%
	石狩さけまつり	旧石狩	32,000	
	RISING SUN ROCK FESTIVAL	旧石狩	65,000	
	いしかり浜サンドパーク	旧石狩	6,100	
	寒中屋台村	旧石狩	5,000	
	石狩まるごとフェスタ	旧石狩	53,000	
	厚田ふるさとあきあじ祭り	厚田区	11,000	
	浜益ふるさと祭り	浜益区	3,500	
案内所			58,266	2.8%
	石狩観光センター「ゆめポート」	旧石狩	10,480	
	ヴィジターセンター	旧石狩	28,900	
	あいロード夕日の丘観光案内所	厚田区	18,886	
その他			2,534	0.1%
	浜益区内民宿	浜益区	2,534	
合計			2,070,551	100%

&lt;出典：平成 27 年度観光入込客数調査・石狩市&gt;

## 2 課題

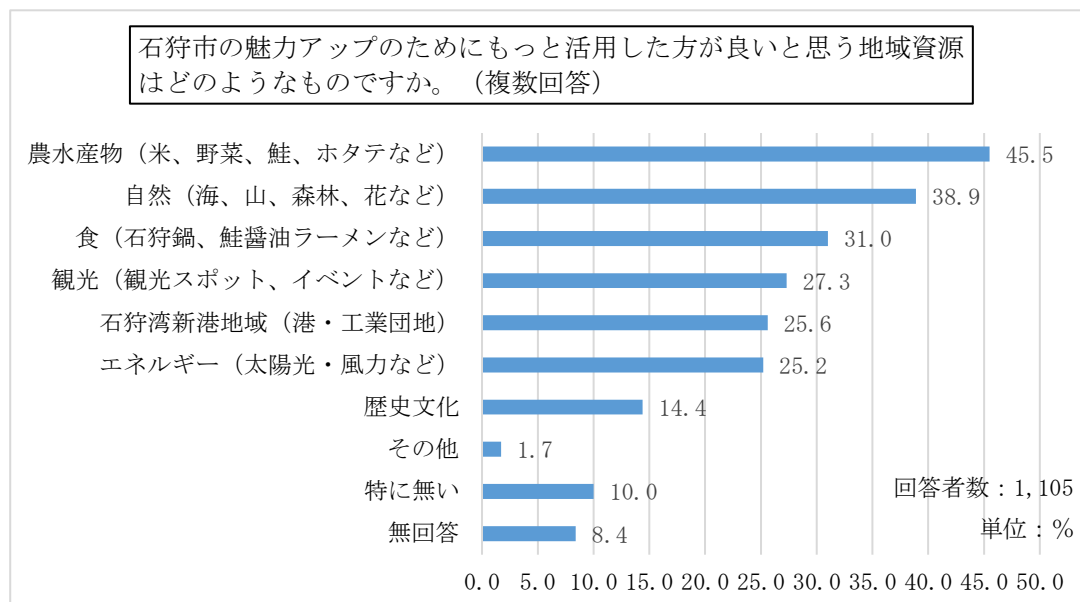
### (1) 観光資源の磨き上げと発信

観光入込客数の推移（平成 19 年度～平成 27 年度）（図表 1）の状況からも分かるように、本市に訪れる観光客数は近年ほぼ横ばいで推移しています。

首都圏等において、「石狩鍋」は知っていてもその発祥の地である「石狩市」は知らないという話はよく聞くことがあり、観光地としての印象以前にまちとして知名度が低いことが伺えます。また、本市は、道内最大の人口を有し、多くの道内外の観光客が訪れている札幌圏に位置していながら、圏域で唯一、農山漁村全てを備えていることや本市の特色であるサケやニシンを代表する歴史・文化など豊富な観光素材があるという高いポテンシャルを有している一方で、海水浴場やその他にも入込客数の減少が見立つ観光施設等があることから、その磨き上げと発信が不足しています。また、宿泊施設や土産店、観光事業者が少ないなど観光で地域が潤うために必要な消費施設等が少ないことや入込客数が多い施設が限定されている現状もあります。このほか、平成 30 年に開業する道の駅（仮称）「あったか・あいろーど」を核として、自然や体験型観光の素材が豊富に存在する石狩北部地域の面的な魅力アップも必要です。

「平成 28 度市民意識に関するアンケート調査」での、「石狩市の魅力アップのために、もっと活用した方が良いと思う地域資源はどんなものですか」という問いの回答結果からも、石狩市民から本市の特色を活かした様々な地域資源の魅力アップが求められていることが伺えます。

【図表 5】



〈出典：平成 28 年市民意識に関するアンケート調査・石狩市 平成 28 年 8 月実施〉

## (2) 市内周遊の促進

平成 27 年度市内観光入込客数の観光施設等別内訳（図表 4）からも分かるように「あそび一ち石狩」や「地物市場『とれのさと』」などの施設や「石狩三大秋祭り」や「石狩まるごとフェスタ」など石狩観光協会や商工関連団体などの継続的な努力により、既に多くの観光客が訪れている実績があります。今後は、PR の強化や更なる内容の充実による価値の向上を図るほか、民間会社等が主催するイベントとの連携や新たな誘致などにより、来場者の増加を図るとともに、来場を機に、少しでも多くの観光スポット等に立ち寄ってもらえるよう周遊を促進することや石狩に興味をもってもらい、また行ってみたいと感じる方を増加させる取り組みを進める必要があります。また、「あそび一ち石狩」や「石狩三大秋祭り」など本市における集客の目玉といえるイベント等を運営しているのは、市内の観光事業者等で構成される石狩観光協会です。今後の集客・周遊の促進にあたっては、市が観光協会と一体となって観光施策を進めていくとともに、同協会の更なる組織の強化や経営の安定化を図ることが欠かせません。このほか、本市は、道内最大の人口を有し、多くの観光客が訪れている札幌圏に位置している地理的優位性を活かし、札幌市民をはじめ道内外の観光客に本市に足を伸ばしてもらい、市内を周遊してもらうため、公共交通機関はもちろん、レンタカーやタクシー事業者などの二次交通とも連携した取り組みを進めていくことが重要であると考えられます。さらには、観光のきっかけになりやすい「食」についても、本市の豊富な素材を活かした特産品づくりとその販路拡大により、まちの魅力を象徴するものとして観光資源とともにPR を強化していくことも必要です。

## (3) 「サケの歴史・文化」の再興とその価値の向上

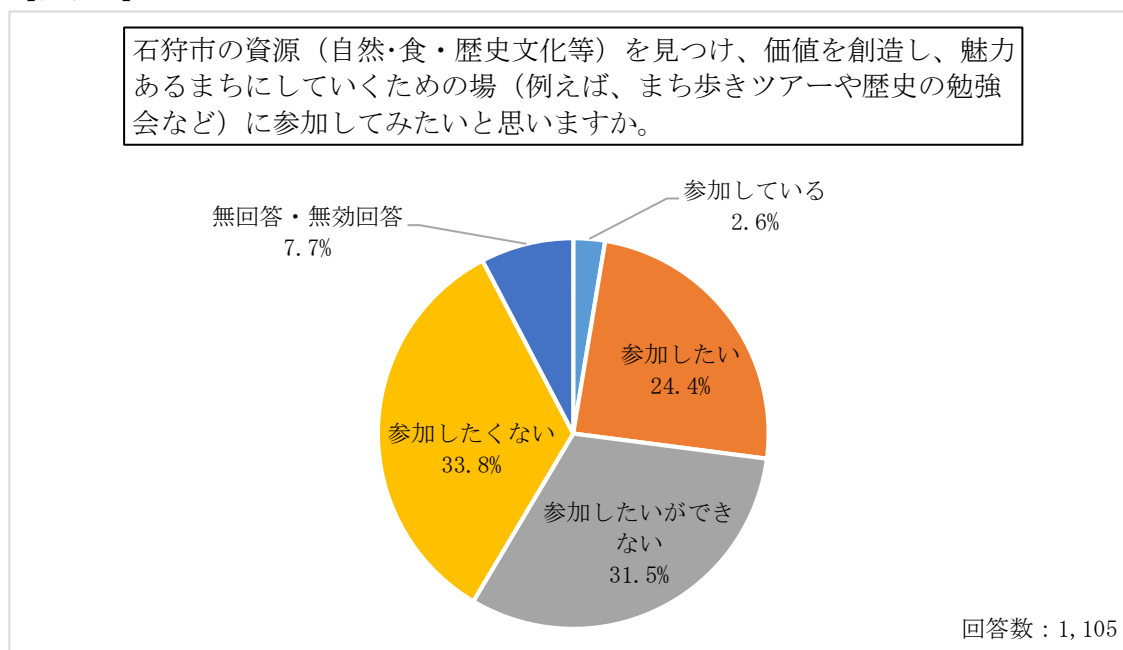
本市は、松前藩時代、藩主の直領地として「石狩場所」が設置され、和人とアイヌがサケを中心とした物産の交易の場として機能したことや北海道の郷土料理の代表でもある「石狩鍋」の発祥の地であることなど、サケの恩恵を受けながらその歩みを進めてきた歴史があります。近年では、江戸幕府の献上品であった「寒塩引」を当時の製法そのままに石狩観光協会が復活し、生産・販売するなどの取り組みを行っているところです。平成 25 年には、NPO 法人北海道遺産協議会より「サケの文化を守り伝える担い手」の一つとして本市が認定されたことや平成 27 年には、2015 ミラノ国際博覧会の北海道の日において、北海道を代表する郷土料理として「石狩鍋」が紹介されたことから、今後はこれらの実績を効果的に活用し、国内外に本市の魅力を広くPR していくことが重要であると考えられます。さらには、本市のサケの歴史・文化を象徴するイベントである「石狩三大秋祭り」などにおいて、サケの歴史・文化の再興とその価値の向上を目指した取り組みを進めるなど、本市がサケの観光地として、国内外に広く発信できるように磨き上げを行っていく必要があります。



#### (4) 市民が活躍する観光振興

市や観光協会のみならず、市民一人一人がまちの魅力を認識し、自ら発信していくことで、持続的かつ広がりをもった観光振興を図っていくことが可能になると考えられます。また、市民が主体となって観光まちづくりに取り組むことは来石者へのおもてなしにつながり、市民と観光客の交流は両者の心の潤いにもつながることともなります。このほか、近年、着地型観光のニーズが高まっており、観光客は地域との交流を求める傾向が強くなっていることから今後もオール石狩で観光振興へ向けた機運を高めていく必要があります。なお、市で実施した「平成 28 年度市民意識に関するアンケート調査」にて「石狩の資源を見つけ、価値を創造し、魅力あるまちにしていくための場に参加してみたいと思いますか?」という問いでは、参加意欲がある層（参加している、参加したい、参加したいができない）が全体の約 6 割をも占めていることから、今後も参加する場の提供を拡充していくとともに、約 3 割となっている「参加したくない」層への意識啓発の強化を進めていくことが求められています。（図表 6）

【図表 6】



〈出典：平成 28 年市民意識に関するアンケート調査・石狩市 平成 28 年 8 月実施〉

### Ⅲ 目指す「石狩市の観光」の姿

#### 1 計画の期間

本計画は、平成 29 年（2017）年度から平成 33（2021）年度までの 5 年間で取組みます。  
なお、計画策定後は、この進捗状況を把握に努めるとともに、観光を取り巻く社会的情勢の変化などに対応し、必要に応じて計画の見直しを行うこととします。

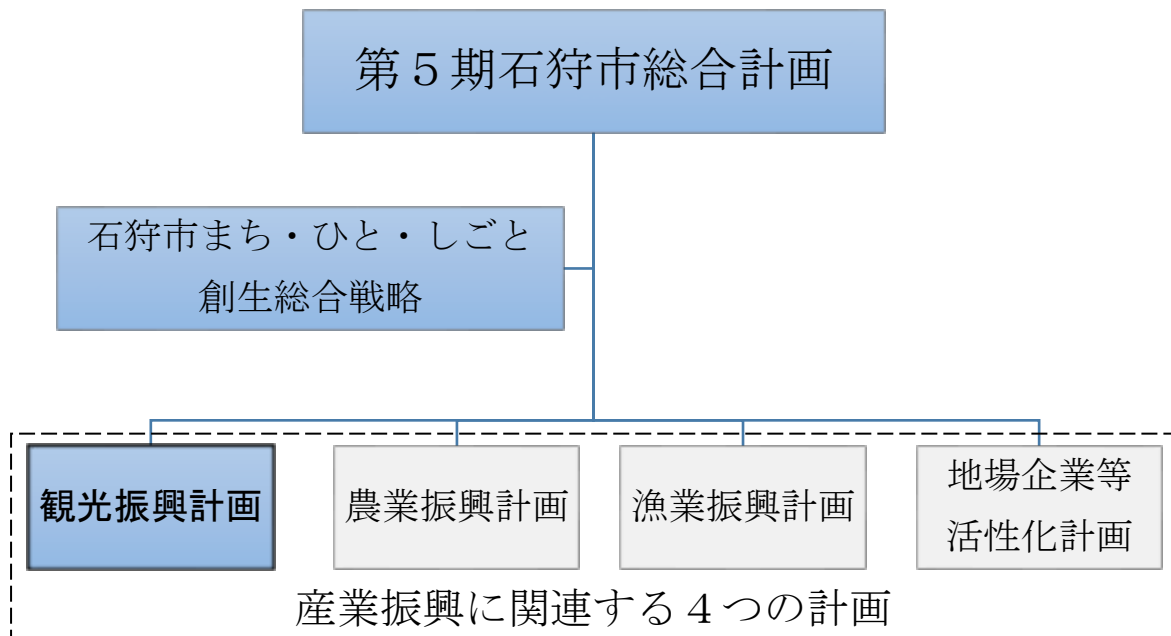
#### 2 計画の性格

##### (1) 計画の位置付け

観光振興計画は本市の最上位計画である、第5期石狩市総合計画に基づき、「30年後のまちの持続」、「いしかりPRIDEの醸成」の実現に向けて、本市の観光振興の進むべき方向性とあり方を示すものです。

観光は、自然や食をはじめ、まちづくり、広域連携、スポーツなど、幅広い分野の様々な要素から構成されているため、社会情勢の変化等に影響を受けやすいという側面があります。そのため、「石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をはじめ、産業振興に関連する4つの計画との整合性を図りながら推進していきます。

【石狩市総合計画と産業振興に関連する4つの計画との相関関係】



##### (2) 石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略における目標

観光入込客数の増加、市のホームページアクセス数の増加（観光部門）を成果指標とし、「観光客の満足度を高める」「経済の波及効果を高める」「市民の満足

度を高める（石狩PRIDE）」という質的目標を設定します。

（数値目標）

指 標	数値目標
交流人口数（観光客等入込数）	185.3万人
地域の資源を見つけ、価値を創造し、魅力あるまちにしてい くための集まりに参加している（参加したいと思う）市民の 割合（市民意識調査）	50%

〈出典：石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略〉

（具体的な施策と重要業績評価指数【KPI】）

項 目	具体的な施策・事業	重要業績評価指数
観光資源を生か した交流人口の 誘導	少子高齢化やレジャーの多様化等を背景 に、全国的な海離れが進む中、安全安心、 気軽・手軽、快適をキーワードとする「石 狩の海辺の魅力」を創造し、誘客を図る。 （具体的な事業） ・海辺の魅力創造推進事業	・海辺の施設・イベ ント等の入込客数 5年間で126.5万人 （参考） 【平成27 年度】 25.3 万人
鮭の歴史文化の 醸成による観光 産業の活性化	石狩古来の石狩鍋やちゃんちゃん焼きな ど、鮭料理の更なる知名度アップを図るほ か、鮭漁で栄えた石狩の歴史や文化を広く PRすることにより、石狩市民が誇るアイ デンティティを醸成し、鮭を中心とした観 光産業の活性化を図る。 （具体的な事業） ・「サケの文化発信」事業	・平成33年度のサケ の文化 ※発信サイトアクセス数 2.7万件 ・石狩市三大秋祭り 入込数 5年間で33.2万人
「石狩ブラン ド」の推進	本市の特産品などの「石狩ブランド」を、 動画ならではの表現力でダイレクトに発 信するため、動画サイトを活用して観光協 会等の関連団体ホームページや通販サイ ト、物産・観光パンフレット等の紙媒体と 連動した独自のチャンネルを構築し、新た なメディアとしてまちの広報活動を展開 する。 （具体的な事業） ・石狩ブランド情報発信事業	・平成33年度の地場 特産品 ※販売額 4,000万円 （参考） 【平成27 年度】 3,700万円

### 3 計画の〇〇〇〇〇〇



本市では、~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

計画のテーマの説明文  
※第 2 回検討会にて協議

~~~~美しい自然環境や豊富な食、地域固有の歴史・文化を活用して、市民や観光関連事業者、観光協会の連携により、石狩市の観光スタイルの開発や確立を推進し、魅力ある観光地づくりや観光で地域が潤う仕組みの構築を進めます。

### 4 計画の具体的な展開

「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」というコンセプトのもと、本市の観光振興における課題の解決を図るため、「地域個性を活かした観光で潤う」、「持続可能な観光で潤う」という 2 つの基本方針を掲げ、4 つの基本施策と 1 4 の重点的に取り組む具体的な施策を展開します。また、観光施策は、農業、漁業、商工業などが一体となった裾野の広い取り組みであるほか、その生み出す経済効果は多岐にわたることから、産業振興に関連する 4 つの計画が連動しながら推進していきます。なお、他計画と関連がある事業については、該当計画を標記しています。例 地場企業等活性化計画

〔計画の体系図〕

| 基本方針           | 基本施策           | 重点的な取り組み          |              |                             |
|----------------|----------------|-------------------|--------------|-----------------------------|
| 地域個性を活かした観光で潤う | 観光資源の活用整備      | 海辺の魅力アップ          | イベントの魅力アップ   | 道の駅を核とした石狩北部地域観光の充実         |
|                | サケの歴史・文化発信     | 大規模イベントの誘致及び周遊の促進 | 魅力ある観光ルートづくり | 海外へ向けた情報発信                  |
|                | 石狩ブランドの確立      | サケの食の発信           | サケの歴史・文化の発信  | 「サケ育」の推進                    |
| 持続可能な観光で潤う     | 観光関連事業者への支援    | 総合的な物産の支援機能の拡充    |              |                             |
|                | 市民が活躍する観光まちづくり | 石狩観光協会との一体的な推進    | 市民観光サポーターの推進 | 「サケ育」の推進〔再掲〕<br>観光ガイドの育成・支援 |

(1) 「地域個性を生かした観光」で潤う

| 基本施策                                                                                                         | 具体的な施策                                                                                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>観光資源の活用と整備</b><br>本市の歴史・文化や観光施設、イベントなどにおいて、既存の資源の磨き上げを図るとともに新たな資源の創出にも取り組むことで来石の「目的づくり」を行いながら、市内周遊を促進します。 | <b>海辺の魅力アップ</b><br>強力な集客素材の一つとなっている海水浴場において、来場者の安全確保に向けて一層取り組みを進めるとともに体験プログラムなどの新たなサービスの導入やイベントの拡充など、地域の魅力のPRを強化することで来場者の満足度向上を図りながら、更なる集客を目指します。また、体験型観光や温泉など周辺の資源も組み合わせ海辺の魅力として一体的に発信していきます。 |
|                                                                                                              | <b>イベントの魅力アップ</b><br>三大秋祭りなどのイベントにおいて、本市の特色であるサケやニシンの歴史・文化などの観光素材を強化することでその価値を高めていくとともに、「食」などの集客力が高い要素も発展させることで来場者数の増加を図って行きます。また、地域と更に一体となった運営を行い、来場者へ「おもてなし空間」を提供するなど魅力アップに向けた取り組みを進めます。     |
|                                                                                                              | <b>道の駅を核とした石狩北部地域観光の充実</b><br>暑寒別天売焼尻国定公園に代表される風光明媚な観光地域である石狩北部地域について、平成30年にオープンする道の駅（仮称）「あったか・あいろ一ど」を拠点とし、山道トレ                                                                                |

|                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                            | <p>ッキングなどの体験素材やニシン漁で栄えた歴史を感じる史跡、果物狩り、温泉、さらには市内全体も含めた周遊ルートを提案していきます。また、観光素材の魅力アップにあたっては観光客と地域の交流など、地域と一体となった磨き上げを行います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|                                                                                            | <div style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">農業振興計画</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-left: 20px;">漁業振興計画</span> </div> <p><b>大規模イベントの誘致及び周遊の促進</b></p> <p>市内では、道内最大級の音楽フェス「RISING SUN ROCK FESTIVAL」が行われ、道内外から多くの来場者が訪れており、今後は、更なる連携を深めるとともに多様なイベントや映画等の撮影場所の誘致を行うほか、これらを活用した市内周遊の仕組みの構築にも取り組んでいきます。</p>            |
|                                                                                            | <p><b>魅力ある観光ルートづくり</b></p> <p>本町地区を中心としたサケの文化・歴史や農山漁村地域を全て有するポテンシャルなどを活かした周遊の促進を図るため、市民や観光ボランティアガイド、石狩観光協会などと協働して多彩なモデルコースを作成するほか、二次交通事業者とも連携しながら広くPRしていきます。また、石狩管内や国道231号線を主要な幹線道路する日本海オロロンラインの沿線の市町村などと連携した「広域観光」の取り組みも引き続き強化していきます。</p>                                                                                                                                                               |
|                                                                                            | <p><b>海外へ向けた情報発信</b></p> <p>国や道、他市町村などの関係機関と連携を図り、本市のサケやニシンを中心とした「歴史・文化」や豊富な農産物・海産物などの「食」、自然を活用した「体験型観光」等の情報を海外の旅行会社やメディア等へ、積極的にPRしていきます。また、外国人観光客の受け入れについては、市内事業者への情報提供により受け入れしやすい雰囲気づくりを図るなど支援を行っていきます。さらには、来道の目的の一つとなる「食」のPRについては、産業振興に関連する4つの計画において物産振興の観点からも検討を進めていきます。</p> <div style="text-align: right;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">産業振興に関連する4つの計画</span> </div> |
| <p><b>サケの文化発信</b></p> <p>平成27年にミラノ国際博覧会の北海道の日で「石狩鍋」が紹介されるほど、北海道・本市の文化・歴史を象徴する観光素材の一つとな</p> | <p><b>サケの食の発信</b></p> <p>道外での知名度も高い「石狩鍋」の更なる普及促進を核として、「寒塩引」や「チャンチャン焼き」のほか、市内で生産されているサケを活用した加工品などを観光素材とともに国内外へ広く発信していきます。</p> <div style="text-align: right;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">地場企業等活性化計画</span> </div>                                                                                                                                                         |

|                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>っている「サケ」について、更なる磨きをかけて情報発信をしていくとともに市民が誇るアイデンティティとして認識されるよう意識の醸成を図ります。</p>                                                | <p><b>サケの文化・歴史の発信</b></p> <p>石狩発祥の地「本町地区」のサケ漁とともに発展した文化・歴史を地域住民や観光ボランティアガイド、石狩観光協会などと協働して、魅力の再構築と発信を行い、旅行会社やメディア等へ広くPRしていきます。また、本町地区を市内を代表する観光エリアとして位置づけ、面的な魅力アップが図れるよう地域が潤う仕組みを検討していきます。</p>                                                                   |
|                                                                                                                             | <p><b>「サケ育」の推進</b></p> <p>児童、生徒などの次世代を担う層を中心に、総合学習の活用やイベント等の開催によりサケの歴史・文化を伝承していくほか、石狩鍋の調理体験などの生活に身近な食などをおして、サケにふれる機会を拡充させることで、シビックプライド（石狩PRIDE）の形成を図り、市民一人一人がまちの魅力を発信できるよう取り組んでいきます。</p>                                                                        |
| <p><b>石狩ブランドの確立</b></p> <p>「食」は、観光客の来訪目的の代表的なものであり、また、「食」そのものが地域の魅力を象徴するものであるため、その価値の向上に取り組むとともに観光プロモーションと一体的に展開していきます。</p> | <p><b>総合的な物産の支援機能の創設</b></p> <p>市内において、特産品の開発や新たなものづくりに加え、それを集約し、販路拡大までを総合的に支援できる機能の創設に向けて、産業振興計画4計画において、横断的に推進をしていきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">産業振興に関連する4つの計画</div> |

## (2) 「持続可能な観光」で潤う

| 基本施策                                                                                                                                                         | 具体的な施策                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>観光関連事業者等への支援</b></p> <p>市内において、観光事業が活性化されるよう観光関連事業者の支援を行うとともに、観光ビジネスに関する情報提供により、新たなビジネスの創出や事業の拡大などを支援します。また、日本版DMO*の形成についても情報収集を行いながら長期的に検討していきます。</p> | <p><b>一般社団法人石狩観光協会との一体的な推進</b></p> <p>観光業界は常に新たなトレンドに対し、迅速且つ的確に対応した施策を展開することが必要不可欠であり、その役割を担うことができるのは市内の観光関連事業者等で組織されている「一般社団法人石狩観光協会」です。</p> <p>市は、市内で唯一の観光資源のマネジメント役である観光協会が活動しやすい環境づくりに取り組むとともに観光施策の推進にあたっては、観光協会と両輪となって取り組み、地域への経済効果の最大化を図っていきます。</p> |

|                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>市民が活躍する観光まちづくりの推進</b><br>市民がまちの魅力を認識し、自ら発信することで観光客等との交流を促進するとともに、市民が観光を切り口に気軽にまちづくりに参加できるように環境づくりを行います。 | <b>「サケ育」の推進</b> <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span><br>児童、生徒などの次世代を担う層を中心に、総合学習の活用やイベント等の開催によりサケの歴史・文化を伝承していくほか、石狩鍋の調理体験などの生活に身近な食などをおとして、サケにふれる機会を拡充させることで、シビックプライド（石狩PRIDE）の形成を図り、市民一人一人がまちの魅力を発信できるよう取り組んでいきます。 |
|                                                                                                            | <b>市民観光サポーターの推進</b><br>市民が地域の魅力に気付き、理解し、自ら観光の取り組みに参加することで、まちが一丸となって観光を推進出来るよう意識の醸成を図ります。また、観光イベントや施設の運営などにあたっては、市民との協働を一層推進し、新たな可能性を模索していきます。                                                                                                               |
|                                                                                                            | <b>観光ガイドの育成・支援</b><br>地域の魅力を対面で発信する観光ガイドは、まちのストーリーテラーとして、また、観光客の満足度向上において重要な役割を担います。そのため、良質なガイドの育成や人員の増強などに取り組んでいきます。                                                                                                                                       |

※日本版DMO

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。  
 <出典：観光庁Webサイト>

## 5 計画の進行管理

本計画は、計画期間を5か年としていますが、観光振興計画検討会が中心となって、毎年度進捗状況を管理し、観光を取り巻く社会情勢や事業の実施状況を鑑み、時代に適応した計画となるよう適宜見直しを行っていきます。

## 6 計画の推進体制

本計画を推進するにあたっては、主体となる市民、観光事業者、石狩観光協会と市が協働して取組みを進めるが事業効果の最大化につながっていきます。

### (1) 市民に求められるもの

自らの視点でまちの魅力を発見することが、観光まちづくりに参画する第一歩



となります。自分が大事にしたい「まちの魅力」を見つけ、家族、友人、知人に伝えていくとともに地域のみんなでその魅力をもっと自慢できるように磨き上げることが求められます。また、石狩を訪れた方には「おもてなし」の意識であたたかく迎えていくことも大切なことです。

(2) 観光事業者に求められるもの

観光事業者は、観光客のニーズを的確に把握し、地域の魅力を有効活用してサービスを提供するとともに地域の観光振興へ向けた取り組みにも積極的に参加するなど地域の発展にも寄与することが求められます。

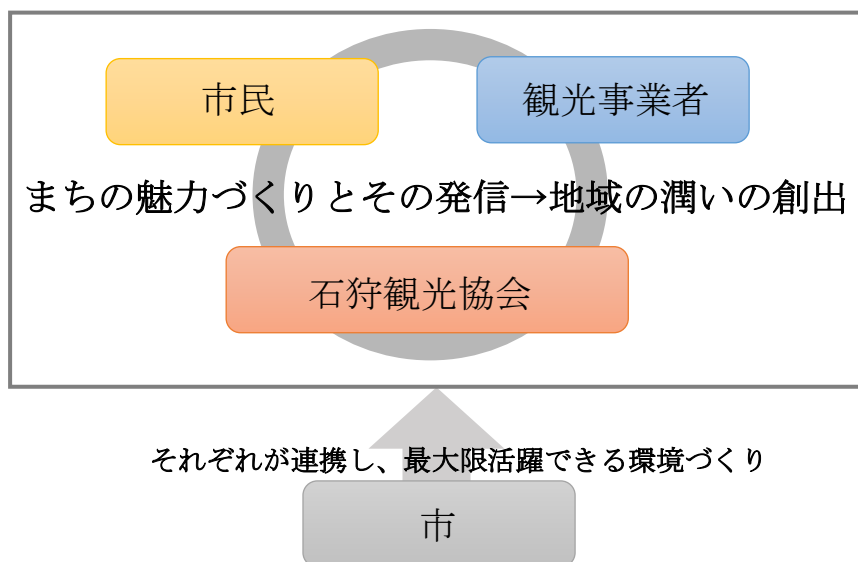
(3) 石狩観光協会に求められるもの

石狩観光協会は、「観光産業の健全な発展を図り、市民生活文化の向上と地域産業経済の発展に寄与する」というその設立目的を踏まえ、市内観光資源を効果的にPRしていくほか、イベントや海水浴場などの集客力が期待される観光素材を核に魅力アップと地域への経済波及効果の最大化を図っていくことが求められます。

(4) 行政の役割

市民・観光事業者・観光協会が観光振興計画で掲げた共通の理念や目的のもと、オール石狩体制で観光振興が図られるよう全体のコーディネート役になるとともにそれぞれが協働して最大限に活躍できる環境を整備することに努めます。

[推進体制のイメージ]



## IV 計画策定にあたって

### 1 石狩市観光振興計画検討会の開催

本計画の策定にあたり、本市の観光振興に関する団体等が連携し、魅力的な計画策定及びその推進に向けた検討を行うため、「石狩市観光振興計画検討会」を設置し、議論を重ねました。

#### (1) 検討会の委員

| 役職  | 委員氏名 | 団体名           | 団体役職       |
|-----|------|---------------|------------|
| 会長  | 吉田保雄 | 一般社団法人 石狩観光協会 | 専務理事       |
| 副会長 | 吉田和彦 | 企画経済部渉外調整担当   | 地域振興アドバイザー |
| 委員  | 大田富夫 | 石狩市農業協同組合     | 営農部長       |
| 委員  | 長谷川司 | 北石狩農業協同組合     | 厚田支所長      |
| 委員  | 和田郁夫 | 石狩湾漁業協同組合     | 専務理事       |
| 委員  | 中林義雄 | 石狩商工会議所       | 青年部筆頭副会長   |
| 委員  | 尾山忠洋 | 石狩北商工会        | 事務局長       |
| 委員  | 本間貴士 | 石狩青年会議所       | 監事         |
| 委員  | 三上正信 | 一般社団法人 石狩観光協会 | 浜益事務所      |

#### (2) 経緯・経過

- 平成28年 7月 8日 検討会委員の選任
- 8月 3日 第1回石狩市観光振興計画検討会
- 10月24日 第1回石狩市産業振興計画策定委員連絡調整会議
- 11月15日 第2回石狩市観光振興計画検討会
- 12月20日 パブリックコメントの実施
- 平成29年 2月〇日 第2回石狩市産業振興計画策定委員連絡調整会議
- 2月〇日 パブリックコメントの検討結果の発表
- 3月〇日 第2次石狩市観光振興計画の策定

### 【参考】その他、アンケート等の実施

#### (1) いしかり浜サンドパーク2016来場者アンケート（平成28年7月実施）

「石狩市は観光のまちだと思いますか」という問いに「思わない・どちらかといえば思わない・どちらでもない」という回答が6割となっており、本市の観光地

としてのイメージの薄さが伺えました。また、「石狩の観光といえばどのようなイメージがありますか。」という問いに、「サケの歴史・文化」のほか、「海水浴、朝市、新鮮な海産物」という回答が多く、海に関するイメージが強いことも伺えました。（回答者数109人）

(2) 石狩さけまつり観光フォーラム（平成28年9月実施）

石狩さけまつりの開催にあわせて、サケの歴史・文化をテーマにした講演会と観光振興計画案の紹介、参加者との意見交換を行いました。参加者からは、「サケの歴史・文化に石狩の自然などの魅力も組み合わせるPRが必要」、「市民にもまちに自信と誇りを持ってほしい」などのご意見をいただきました。（参加者約50人）

(3) 国際協力機構（JICA）外国人研修員による市内観光施設フィールドワーク（平成28年9月実施）

アルバニアやブータン、インドなど9カ国から観光分野の官庁職員等が厚田、浜益区の体験型観光施設等を中心に訪問。研修員から概ね好評を得たとともに様々なアドバイスをいただきました。また、訪問施設の担当者からは、実際に外国人に接するとインバウンドの受け入れは思っていたよりハードルは高くなかったなど前向きな意見をいただきました。

(4) 食育に関するアンケート（平成28年10月実施）

市保健福祉部が食育基本計画の策定にあたり、市内小学校4校の1、3、5年生及び市内中学校2校の2年生の保護者を対象に実施したアンケートにおいて、「食や地域の歴史・文化などを通したお子さんの郷土愛を育む取り組みは重要だと思いますか。」という問いに対し、約半数が「重要である」と回答しており、その必要性の高さが伺えました。（回答者数約1,300人）

# 石狩市観光振興計画

[平成 29 年 (2017) 年度～平成 33 (2021) 年度]

2017 年 3 月〇〇日

発 行

石 狩 市

石狩市花川北 6 条 1 丁目 30 番地 2

企画経済部商工労働観光課観光担当

TEL0133-72-3167 / FAX0133-72-3540

Email [kankou@city.ishikari.hokkaido.jp](mailto:kankou@city.ishikari.hokkaido.jp)